

合言葉は「フェアプレーならできる！」

講師に松岡修造さんを迎えて
みんなでフェアプレーを語り、
みんなと一緒に体を動かせる
JSPPO フェアプレイスクール
本取組初の 3 校同時開催！



千代田区立富士見小学校 足立区立青井小学校 東京学芸大学附属小金井小学校

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPPO（正式名称：公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区／会長 伊藤雅俊）は、コロナ禍でも子供たちにフェアプレーを考えて元気に楽しく過ごしてもらいたい！と活動をしています。今回、松岡修造さんに賛同いただき、日本テニス協会と協力し、本取組初となる 3 校が同時にオンラインでつながり、みんなでフェアプレーを考える「JSPPO フェアプレイスクール」を開催しました。

スポーツには様々な力がありますがその中心にあるのがフェアプレーです。スポーツを通じて育まれるフェアプレーは、社会を元気にする人づくり、地域づくり、国づくりに貢献できるはずです。

「スポーツのフェアプレーを通じて何を学ぶべきなのか」「学んだことを日々はどう活かすのか」

コロナに負けず子供たちに元気に過ごしてもらいたい！と強く願う講師/松岡修造さんが 3 校に向けて、講義と運動遊び「テニピン」を通し、「フェアプレイならできる」をキーワードに熱くフェアプレーを伝えました。「コロナ禍でもフェアプレーは大事なこと。どうすれば体も心も正しいフェアプレーができていくか」というと 1、良心に聞こう！自分の心の声を聴くんです。2、自分のベスト。どんなコンディションでもその時のベストを尽くすことが大事。3、みんなに感謝。ありがとうと言うとありがとうが返ってきて自分の力に変わるんです。4、自分チャレンジ！チャレンジだから失敗がある。だから成長する」講義を聞いた JSPPO フェアプレイ応援団の岡部麟さんは、「小学生のころからフェアプレーを意識していることは仲間とスポーツやダンス、遊びをするにも大切なことだと私も思う」と発言。

運動遊びでは技術を向上させることだけが目的ではなく、コミュニケーション力、決断力、ルールを守る、そういったフェアプレーに触れながら「テニピン※」を指導。誰でも仲間とソーシャルディスタンスを図りながら体をうごかせるのもテニピンのいいところと語る松岡さん。もちろん受講した子供たちも先生も元気になったのは言うまでもありません！

※テニピンとは、テニス型のボールゲームのことをいう。

また、本取組初となる 3 校での同時開催。他校と交流することで学びの幅が広がり、コロナ禍でもオンラインだからこそできる取組を精一杯楽しんでいました。



コロナ禍でもつながれる、離れていてもつながれる JSPO フェアプレースクール。
JSPO フェアプレースクールはコロナに負けず年度末まで延長して開催します。
是非ご応募ください。

【JSPO フェアプレースクール】

対象：全国の小中学校・特別支援学校

方法：オンライン（ZOOM）などを活用して行います。

講師：トップアスリート、元トップアスリート*講師はえらべません。ご了承ください。

応募方法：JSPO フェアプレースクール担当までメールもしくは FAX で応募

*詳細は JSPO フェアプレイホームページをご覧ください。

◆「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンとは

JSP0では、スポーツを通じて育まれるフェアプレーが社会を元気にする人づくり・地域づくり・国づくりに必ず貢献できるはずと考え、世の中にフェアプレーの軸を浸透させるために2011年から「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを行っています。

来る2020年を見据え、世界からも注目が集まる日本。フェアプレイ精神を広め、日本中がフェアプレーに溢れている社会を目指し、フェアプレーに溢れる社会となった日本で、世界中のお客様をお迎えしたい。そのためにもこの広がりスポーツ関係者に止めることなく日本全国にメッセージを発信していきたいと考えています。

公式サイト：<https://www.japan-sports.or.jp/fair/>

◆「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン応援団 AKB48 チーム8の活動内容

2017年に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンの応援団に、AKB48 チーム8が就任しました。AKB48 チーム8には、フェアプレーの輪を広げるべく、公式サイトで公開されている応援メッセージ動画への参加やフェアプレイスクールへの参加などの活動を行っていただいております。

◆JSP0が考えるフェアプレーとは

JSP0の考えるフェアプレーとは、「行動としてのフェアプレイ」と「フェアプレイ精神」、大きく分けてその2つです。

スポーツは、定められたルールのもと、対戦相手（記録）と競い合い勝利を目指します。スポーツを成立させるためには、「ルールを守る」、「審判や対戦相手を尊重する」、「全力を尽くして戦い、勝っても驕らず負けてもふてくされない」というフェアなプレーに徹しなければなりません。

しかしスポーツでは、どうしても勝ちたいという欲求の中で、自分の勝利を難しくするルールや、勝利という同じ目的を持って自分を阻もうとする相手を尊重しなければならないという、相反する厳しい状況におかれます。そのような中でフェアなプレーに徹するためのゆるぎない心（魂）が必要とされます。自分自身の心に問いかけた時に恥ずかしくない判断ができる心、それがフェアプレイ精神です。行動と精神は切り離せないもの。だからこそ、スポーツを真に楽しむ上でこの2つのフェアプレーは欠かせないものだと考えます。

◆JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）について

JSP0は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSP0では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

WE SUPPORT JAPAN SPORT.

JSPO OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



フェアプレイで日本を元気に ~あくしゅ、あいさつ、ありがとう~
目指せ100万人のフェアプレイ宣言！WEBで好評受付中！
<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

